

# 手話入門

京田 辺

— 手話をとおして見えるもの — 通年・火曜2講時(10:45~12:15)

聴覚障害者情報提供施設元職員 **三ツ谷 直子**

手話は目で見ることです。国連の障害者権利条約では「手話は言語」と明記され、国内でも多くの自治体が「手話言語条例」を策定し手話は広まっています。

講座は聴覚障がいのある講師が担当します。手話の魅力に触れ、手話でのコミュニケーションを楽しみます。また、聴覚障がいの暮らしや歴史について学ぶことで、聴覚障がいの理解、さらには障がいのある全ての方々との共生社会への関心につなげていくのが目的です。

## ■募集人数

20名

※他大学学生・市民は10名まで

## ■テキストなど

今すぐ始める手話テキスト『聴さんと学ぼう!』

(一般財団法人 全日本ろうあ連盟)

## ■必要な費用

テキスト代のみ

## ■注意事項

欠員が生じた場合は、秋学期からの受講も可能です。

受講者の人数、経験などによって、学習の内容や順序は変わることがあります。

欠席についてはできるだけ、キリスト教文化センター事務室に連絡してください。



	回	講座内容	
春学期	1	手話を学ぶ皆さんに伝えたいこと	手話で自己紹介
	2	伝えること、手話について	手話で自己紹介
	3	聞こえの仕組みと聴覚障がいについて	手話で自己紹介
	4~6	聴覚障がい者とコミュニケーション	手話で自己紹介
	7	ゲストスピーカーと手話での会話を楽しもう	
	8~9	聴覚障がい者の歴史	手話での発表準備
	10	まとめ、手話での発表	
秋学期	11	夏休みの生活	手話でコミュニケーション
	12~16	聴覚障がい者のくらし	手話でコミュニケーション
	17	ゲストスピーカーと手話での会話を楽しもう	
	18	手話通訳の仕事	手話でコミュニケーション
	19	聴覚障がい者と社会参加・手話サークル	手話での発表準備
	20	まとめ、手話での発表	